

経営比較分析表（令和5年度決算）

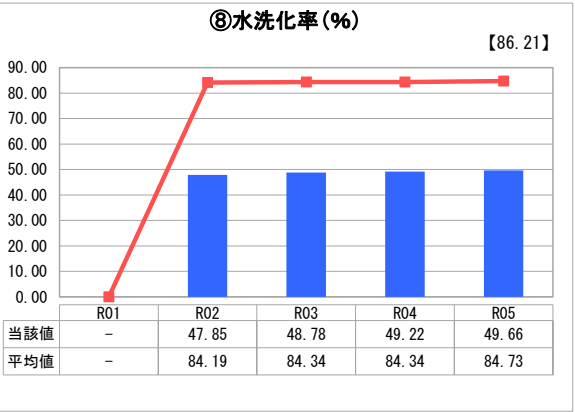
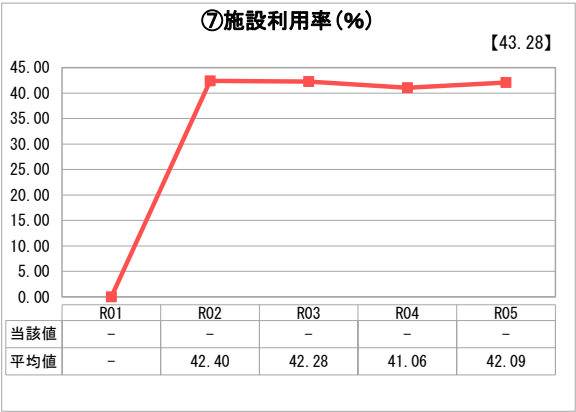
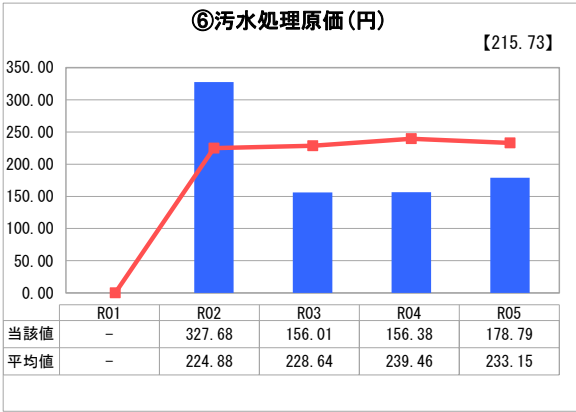
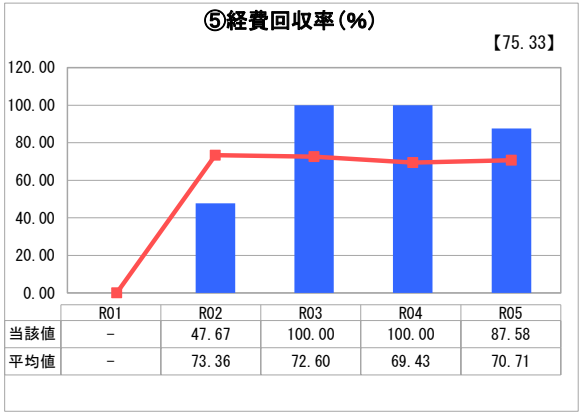
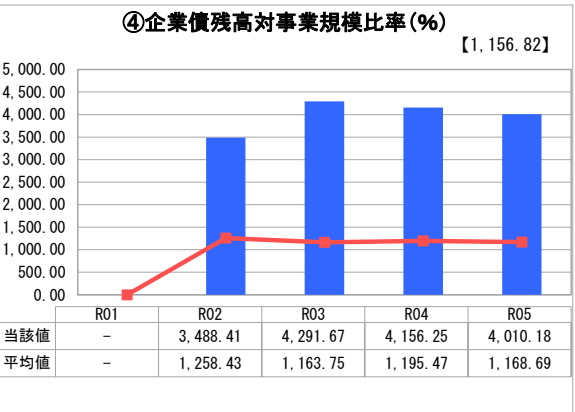
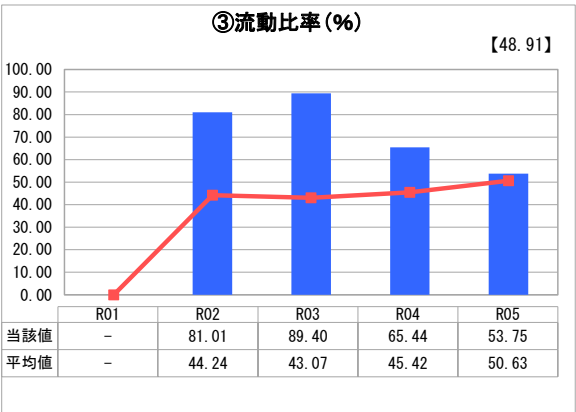
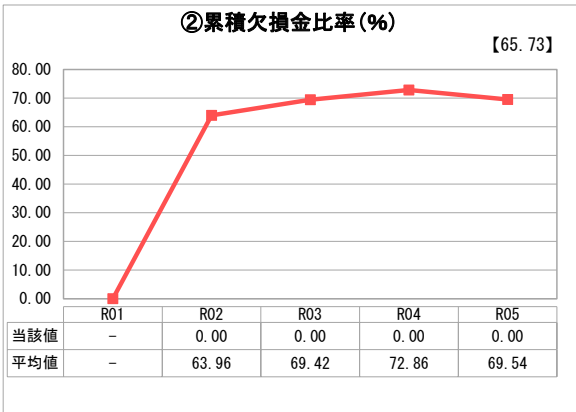
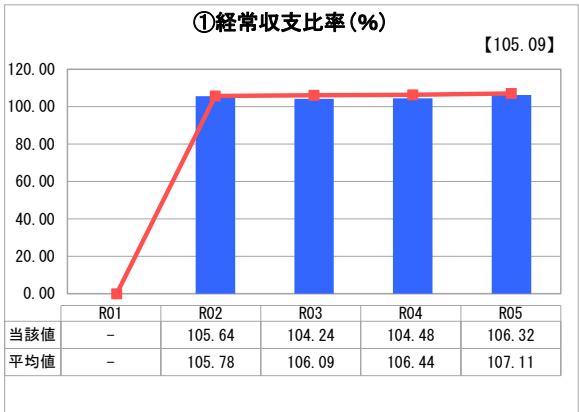
茨城県 坂東市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	54.60	8.49	88.57	3,100

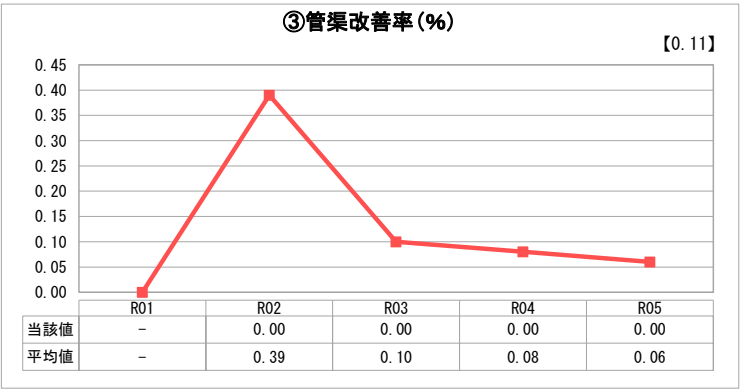
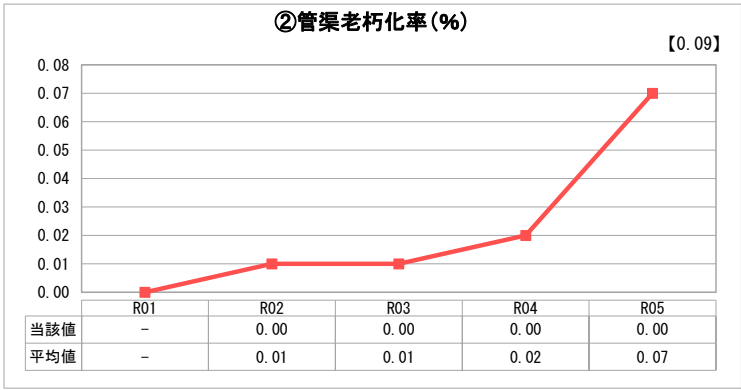
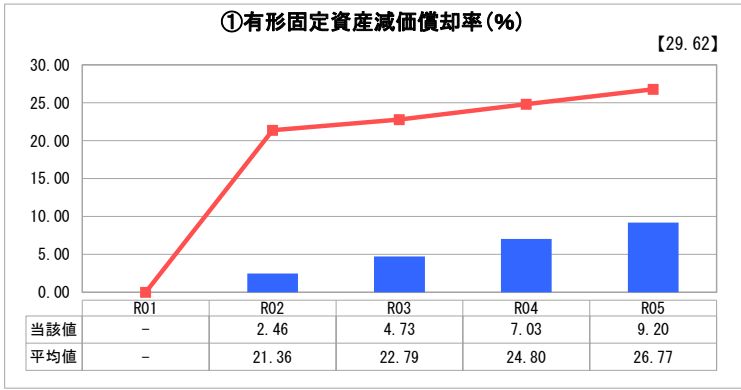
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
52,346	123.03	425.47
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,434	2.52	1,759.52

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率について、100%を上回っているが、主要因は一般会計補助金による収入である。また費用を収益が上回った部分のほとんどが、企業債償還金などの資本的支出の補填財源として利用されているため、内部留保資金が少ない。人口減による使用料収入の減や維持管理費の増加が見込まれることから、長期的な視点に立った収益の向上と費用の削減等経営改善に努める。

②累積欠損金比率について、0%であるが収支が合わない部分については一般会計補助金に依存しているためである。

③流動比率について、流動負債は主に企業債であり、現状は一般会計補助金により支払能力は確保されている。

④企業債残高対事業規模比率について、類似団体平均値と比較して高い水準値であるが、新規借入れの抑制に努める。

⑤経費回収率について、類似団体平均値を上回っているが、前年度比12.42%減の87.58%となっている。物価高騰の影響を受けているため、今後も経費削減、料金改定の検討を行い、健全経営に努める。

⑥汚水処理原価について、類似団体平均値を下回っており、効果的な汚水処理が行われていると判断できる。今後も接続率向上に努め、原価費用の抑制のため適正な投資・維持管理に努めていく。

⑧水洗化率について、類似団体の平均を下回っている。戸別訪問等により接続を促進し、接続率の向上に努めていく。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率について、令和2年度から法適用企業となったことから数値としては小さいが、個々の耐用年数に留意する必要がある。

②管渠老朽化率・③管渠改善率について、管渠の耐用年数が到来しているものがないためゼロとなっている。今後は、管渠の耐用年数も考慮しながらストックマネジメント計画に基づく長期的な更新投資を進めていく。

全体総括

令和2年度より公営企業会計へ移行したことにより、更なる経営の健全・効率化が求められている。今後は、経営戦略に沿って、効果的かつ持続的な経営に努めていく必要がある。また、施設等についてもストックマネジメント計画に基づく、計画的な修繕により長寿命化を図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。